

「新型コロナウイルスとの闘い、 在外の学校現場から ～ピンチをチャンスに 協働意識の高まり～」

パナマ パナマ日本人学校

目次

- ① 学校の概要
- ② 新型コロナウイルス発生からの経緯
- ③ 新型コロナウイルスの対策を講じなければいけなくなった経緯
- ④ 休校中のオンライン授業に向けた取り組み
- ⑤ 苦勞していること
- ⑥ 喜びを感じていること
- ⑦ 今後への課題

① 学校の概要

- 本校は小学部14人、中学部1人、計15人（新型コロナウイルス流行前）、教員は校長含め6人の小規模校のため、少人数を活かして個に応じた細やかな指導を行うことができる。
- また、児童生徒は、学校行事、休み時間を通して異学年での活動が協力的に仲良く行われている。

② 新型コロナウイルス発生からの経緯

- 3月上旬、初めてパナマで新型コロナウイルスの罹患者が発生、3月中旬から飲食店の営業が制限、スーパーの入場規制が始まる。3月下旬から買い物に行くことができる時間が指定される。
- 3月末には完全に空港を封鎖。4月上旬からは土日も外出禁止となる。
- 4月12日に臨時チャーター便で64名の日本人が帰国した。
うち、日本人学校の児童生徒7人が在籍を残したまま一時帰国。
- 未成年は完全に外出禁止、外出は買い物限定で、週に3日（男性は2日）2時間ずつ計6時間（男性は4時間）のみという、世界的に見ても厳しい外出規制をしているが、抑えることができていない状況。

③ 新型コロナウイルスの対策を講じなければ いけなくなった経緯

- 3月10日夜に、パナマ政府が3月11日から4月7日まで現地校の休業措置を発表したため、それに伴って日本人学校も休校とし、その後現地校の休校が延長され、再開の見通しが未定となったため。

④ 休校中のオンライン授業に向けた取り組み

- 休校が決まった直後から連日、オンラインによる会議での授業実施の方法について職員で協議。隣国の日本人学校と情報を共有し、日本の教員の在籍校と連絡を取るなど、情報収集を行った。合わせて、突如の休校、国民に外出禁止が発令されたため、児童生徒の体調伺いとメンタルケアのための電話連絡を開始した。
- オンラインでの授業開始に当たっての柱となったのは以下の3点。
 - (1) 自宅でオンラインを使ってできるカリキュラム（時間割）の作成。
 - 兄弟関係や教員の人数を考えると、1日に1人2コマしかオンラインでの授業ができないため、残りの時間は自主学習とチャレンジタイムとした。
 - 自主学習は担任が課題を出し、チャレンジタイムは、運動やリコーダー、図工、英語など自分に必要な学習を選んで学ぶ時間である。
 - 低学年などは、個に応じて担任が相談に乗りながら進めることとした。

(2) オンラインの授業とスタディサプリの活用

- オンラインの授業は、板書代わりにプレゼンテーションソフトを活用したり、iPadに教科書とノートを投影したりするなど、それぞれの教員が工夫を凝らして授業を行った。
- また、授業を補完するために、リクルート社のスタディサプりを小学部4年生から中学部3年生まで取り入れた。これは授業の動画を視聴したり、テスト問題をしたりできるコンテンツである。どのぐらいの学習時間を確保できたか、テストの結果、どこでつまづいているかなど、教員が把握することができる。

(3) おすすめの学習サイトやアプリの紹介

- チャレンジタイムや自主学習で使えるようなものを保護者に案内し、パナマ日本人学校のホームページからリンクできるようにした。
- 他にも、オンラインの授業を開始するに当たっての、学習のルールの手引を学年ごとに作成した。
- また、児童生徒は一步も外出ができないため、運動不足対策として、楽しく身体を動かすことができる「パナマっ子体操カード」を作成した。
- 以上のような準備をオンラインでの始業式までに準備したことや保護者の協力により、思いの外、スムーズにスタートすることができた。
- 4月末にはオンラインによる保護者懇談を行い、オンライン授業の成果や課題について情報を共有する機会を持った。
- 一時帰国中の7人の児童生徒とも週1回オンラインで連絡を取り、体調の確認、学習の進度について話をする機会を作った。

- 更に5月からは新時間割を開始、現地講師によるスペイン語と図工・美術を週1時間ずつ取り入れた。また、児童生徒会がオンライン会議をし、パナマ在住の全校児童生徒が可能な遊びを話し合い、オンライン集会を実施した。
- 同じく5月からは日本で待機している新派遣者による理科の授業の開始、更に6月からは、小学部英会話授業と外国語活動を開始する予定である。
- 児童生徒が飽きずに楽しく学習に取り組むためには、月一回程度の変化や、新しいことの導入が大切であると考えた。今後も児童生徒や保護者の意見も取り入れながら、今、児童生徒に何が必要か精査し、進めていきたい。

⑤ 苦労していること

- 限られたオンラインの授業時間の中で、画面越しで効率的に授業を進めていくためには、十分な事前の教材準備が必要で、通常の授業準備の何倍もの時間がかかる。
- パナマの郵便事情も通常以上に悪く、新年度の教材等荷物受取が難しかった。
- また、外出禁止のため、教材として必要な資料のコピーなどを学校ですることが難しい状態である。

⑥ 喜びを感じていること

- 日本で派遣を待つ教員も含め、職員全員が一丸となってこの難局を乗り切っていこうと協働意識が高まり、新しい取り組みへの研究を進め、共有できていること。それにより、ICTの活用など、今後一層求められるスキルが身に付いてきている。
- 視覚に訴えるような資料を作成し、児童生徒の理解が深まっていると実感できたとき。また、授業に関して、保護者より感謝の言葉をいただいたときに喜びを感じる。

⑦ 今後への課題

- 学習評価をどのように行っていっていったらよいかが目下の課題である。学習内容や知識が、長期的に見て定着しているのかを測ることが難しい。
- また、子どもたちのメンタルヘルスのケアや体力、筋力の低下を食い止めるための体育や音楽といった主要教科以外の学習をどう進めていったらよいか今後考えていかなければならない。

令和2年度 休校期間中の時間割(6月～)

学部	曜 時	月(lunes)					火(martes)					水(miércoles)					木(jueves)					金(viernes)									
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6						
小学部	1	国	自主学習	チャレンジ	算	自主学習	チャレンジ	チャレンジ	自主学習	国	自主学習	図工	算	国	スペイン語	自主学習	チャレンジ	算	自主学習	チャレンジ	国	自主学習	チャレンジ	算	国	自主学習	チャレンジ	算	自主学習	英会話	
	2	チャレンジ	国	自主学習	チャレンジ	算	自主学習	国	自主学習	チャレンジ	算	図工	自主学習	自主学習	スペイン語	国	自主学習	チャレンジ	算	国	自主学習	チャレンジ	算	チャレンジ	国	自主学習	自主学習	算	自主学習	英会話	
	3	算	自主学習	チャレンジ	社	自主学習	チャレンジ	チャレンジ	自主学習	国	社	図工	自主学習	チャレンジ	国	自主学習	スペイン語	自主学習	理	自主学習	外国語活動	国	自主学習	チャレンジ	算	算	自主学習	チャレンジ	自主学習	チャレンジ	
	4	チャレンジ	国	自主学習	チャレンジ	理	自主学習	国	自主学習	チャレンジ	算	図工	自主学習	算	自主学習	チャレンジ	スペイン語	理	自主学習	算	外国語活動	自主学習	社	自主学習	チャレンジ	チャレンジ	国	自主学習	社	自主学習	チャレンジ
	5	チャレンジ	自主学習	国	自主学習	チャレンジ	算	外国語	社	自主学習	チャレンジ	理	自主学習	国	自主学習	スペイン語	チャレンジ	算	自主学習	チャレンジ	社	自主学習	チャレンジ	理	自主学習	自主学習	図工	国	自主学習	チャレンジ	算
	6	国	自主学習	チャレンジ	算	自主学習	チャレンジ	外国語	自主学習	社	自主学習	チャレンジ	理	自主学習	国	スペイン語	算	自主学習	チャレンジ	チャレンジ	自主学習	社	自主学習	チャレンジ	理	国	図工	自主学習	算	自主学習	チャレンジ
中学部	I	国	自主学習	チャレンジ	自主学習	チャレンジ	理	チャレンジ	自主学習	数	自主学習	チャレンジ	社	チャレンジ	英	スペイン語	自主学習	自主学習	数	チャレンジ	自主学習	国	自主学習	英	美術	社	自主学習	英	自主学習	チャレンジ	理
	Ⅲ	チャレンジ	自主学習	国	自主学習	チャレンジ	理	社	チャレンジ	自主学習	チャレンジ	数	自主学習	英	自主学習	スペイン語	チャレンジ	国	自主学習	英	自主学習	チャレンジ	理	美術	自主学習	数	チャレンジ	自主学習	チャレンジ	社	

週あたりの学習内容・時間	
1・2年	○国・算・・・毎日2時間ずつ
3年	○国・算・・・3時間 ○理・社・・・2時間
4年	○国・算・・・3時間 ○理・社・・・2時間
5・6年	○国・算・・・3時間 ○理・社・・・2時間
中学部	○各教科・・・2時間ずつ

朝の会時間	
・1・2年(8:00～8:10)	・3・4年(8:10～8:20)
・5・6年(8:20～8:30)	・中学部(8:30～8:40)
帰りの会時間	
・1・2年(15:50～16:00)	・3・4年(16:00～16:10)
・5・6年(16:10～16:20)	・中学部(16:20～16:30)

授業時間(中学部50分授業)	
・1校時(9:00～9:45)	・2校時(10:00～10:45)
・3校時(11:00～11:45)	・4校時(13:00～13:45)
・5校時(14:00～14:45)	・6校時(15:00～15:45)

自主学習の時間(45分・中学部50分)	
○ 自主学習を行う。(授業の時間帯に合わせる)	
○ 学習内容(担任の指示によるもの)	
・ 文字・漢字練習、音読、計算プリント、英単語練習、習った内容の復習、課題プリント	

チャレンジタイム(45分・中学部50分)	
○ 読書、学校紹介のアプリ、体操、けん玉、ダンス、お手伝いなどに取り組み、工夫して時間を使う。	